

### 令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪湖に学ぶ
事業主体 (連絡先)	諏訪湖クラブ
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	847,282 円 (うち支援金: 667,000 円)

#### 事業内容

- 冊子：諏訪湖のことをもっと知ろう「諏訪湖の水生物」A4 カラー36 ページ、「諏訪湖の治水に繋がる釜口水門」A4 カラー32 ページを各 6,000 冊作成し、諏訪郡市の小中学校他に配布
- 紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」の作成  
地元絵手紙の会「福の会」と協働で、オオワシと鳥が大好きな爺さんの触れ合いの紙芝居 B4、12 ページ 120 部を作成し、諏訪郡市の保育園他に配布
- 冊子；水の学習「水はどこから来てどこに行くの」A4 カラー16 ページを 5,000 冊作成し、諏訪郡市の小学校他に配布、下水道の役割などを学ぶ副読本として活用して頂いている。



【作成した紙芝居】

#### 【目標・ねらい】

- ①諏訪湖の自然のすばらしさ
- ②下水の水がきれいになる仕組み
- ③諏訪湖の治水、地域とのかかわり  
子どもたちの学びにしたい

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・オオワシ「グル」とのふれあいを描いた紙芝居を通して、子供たちに鳥たちへの配慮や諏訪湖の自然の素晴らしさを伝えることが出来ました。

・諏訪湖は 1999 年を境に、異常発生していたアオコが激減しました。透明度が上がり、湖底に日光が届く範囲にヒシが繁茂し、漁業や観光面において問題化となりました。今後は、ヒシの下で頑張り始めたクロモやエビモの繁茂と共にヒシが縮小することが予想されている。

・諏訪湖の治水については、自然の驚異に立ち向かい先代たち苦勞してきたが釜口水門ができ改善されました。

#### ※自己評価 【A】

【理由】諏訪湖は、縄文の昔から現在まで、諏訪地域の生活と切っても切れない関係にあります。自然環境の保全や、諏訪湖の治水に対する地域の取り組みなどを子供たちに学ぶことができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」の読み聞かせ会をして欲しいとの要望が多く寄せられており、これからもコロナ感染防止に配慮しながら、要望に応じていきたいと思えます。

水の学習「水はどこから来てどこに行く！」は、諏訪地域の水道の水をどこから取り入れているか、下水道の水をきれいにする仕組みなどを学習する副読本としての活用を期待しています。

冊子の入手をしたいとの問い合わせが多く寄せられており、その要望にこたえられるように諏訪湖クラブのホームページに冊子 3 冊及び紙芝居の全文を掲載しました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある